

沿岸養殖通報(第6報)

【種がき 平成21年8月14日】

宮城県水産技術総合センター 東部地方振興事務所水産漁港部
宮城県漁協各支所青年部・研究会

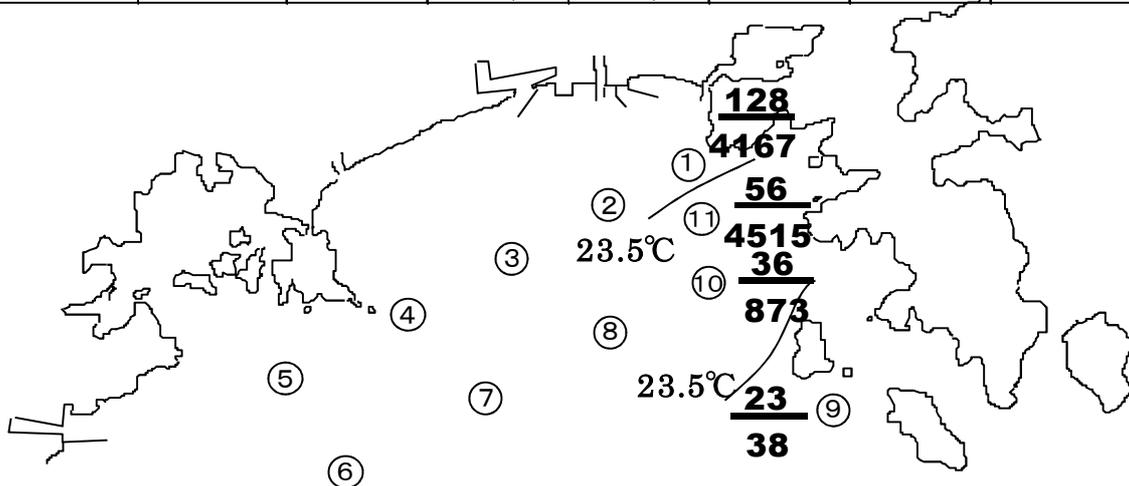
本日、種がき浮遊幼生調査を実施しましたので結果をお知らせします。また、試験連への付着状況をお知らせします。

[概況]

1. 石巻湾の表面水温は23.0~23.8℃, 比重19.4~24.5でした。田代島周辺のSt.9では透明度の高い外洋水におおわれています。
2. 沖合の調査では殻長250μmの大型幼生が23~128個/100L観察されました。また、100μm~200μmの中・小型幼生が数千個/100L観察された水域もありました。
3. 当センターの佐須浜試験連の観察では、8月11~14日の間で69.1~116.4個/原盤1枚1日の付着が確認されました。
4. 桃浦の上層に垂下したカキで産卵が確認されました。また、研究会の調査でも各地で産卵後のカキが確認されています。
5. 研究会による調査では、荻浜湾~石巻にかけて、殻長250μmの大型幼生が、数十個/100L観察されており、これを受けて原盤の投入が始まりました。また、150μm前後の小型幼生も数万個/100L観察されています。

▼カキ浮遊幼生の出現状況調査結果(8/10)

H21	8月14日 8:50~9:40			晴れ														
調査点	表層水温 (°C)	比重 (σ15)	透明度 (m)	サイズ(μm)別幼生数(個/100L)					合計									
				<100	100~150	150~200	200~250	250<										
1	23.0	19.4	3.0	6	3,424	502	107	128	4,167									
2	波浪のため欠測																	
3																		
4																		
5																		
6																		
7	波浪のため欠測																	
8																		
9										23.1	24.5	10.0	1	5	5	4	23	38
10										23.8	22.2	4.0	191	543	77	26	36	873
11										23.8	20.7	3.0	1,501	2,397	405	156	56	4,515



上段: 付着期(250μm以上)幼生数、下段: 全幼生数

▼研究会による調査結果

研究会観測 観測研究会	調査点	月日	H21年		第6回					合計
			水温 (°C)	比重 (σ15)	サイズ(μm)別幼生数(個/100L)					
					<100	100~150	150~200	200~250	>250	
石巻東部	焼山	8月11日	22.0		6,000	0	0	0	0	6,000
	焼山沖			5,000	4	0	0	0	5,004	
	君ヶ根			3,000	0	0	0	0	3,000	
	君ヶ根沖			5,000	2	1	0	0	5,003	
荻浜	2列目	8月12日	22.0		12,000			10	12	12,022
	4列目		22.0		15,000			10	21	15,031
桃浦	一段目	8月12日	22.3		5,000		15	10	17	5,042
	五段目		22.3		5,000		20	27	11	5,058
	十段目		22.0		10,000		4	22	6	10,032
	小物崎		22.0		10,000		4	13	10	10,027
	明神崎		22.0		10,000		7	11	1	10,019
石巻湾	松前	8月14日 (午前)	23.2	22.0	300	800	150	80	20	1,350
	基幹滞		23.8	22.0	300	300	80	32	17	729
	尾崎		23.5	20.0	20,000	3,000	300	50	26	23,376
	生草		23.2	20.0	10,000	1,000	100	30	20	11,150
	新免4号(沖)		23.5	23.0	100	2,500	60	50	20	2,730
	新免4号(岸)		23.5	23.0	50	1,200	80	25	20	1,375
	長浜(東)		23.8	21.0	50	1,500	20	6	5	1,581
	長浜(西)		23.8	21.0	70	3,000	80	10	15	3,175
	小竹		23.0	23.0	10	100	50	18	13	191
鳴瀬町	樺山	8月12日	25.0	14.0	4	3	0	0	2	9
	中の浜		25.0	9.0	6	4	0	2	12	24
	津島		24.8	18.0	26	15	5	1	8	55
	石浜		24.7	20.0	92	140	40	40	120	432
	鐘島		24.8	18.0	20	80	10	10	30	150

○荻浜湾～石巻にかけて、殻長250μmの大型幼生が、数十個/100L観察されており、これを受けて原盤の投入もはじまりました。また、150μm前後の小型幼生が数万個/100L観察されています。

▼試験連への付着状況

○万石浦水道での試験連への付着は8月11～14日の間で69.1～116.4個/原盤1枚1日の付着が確認されています。

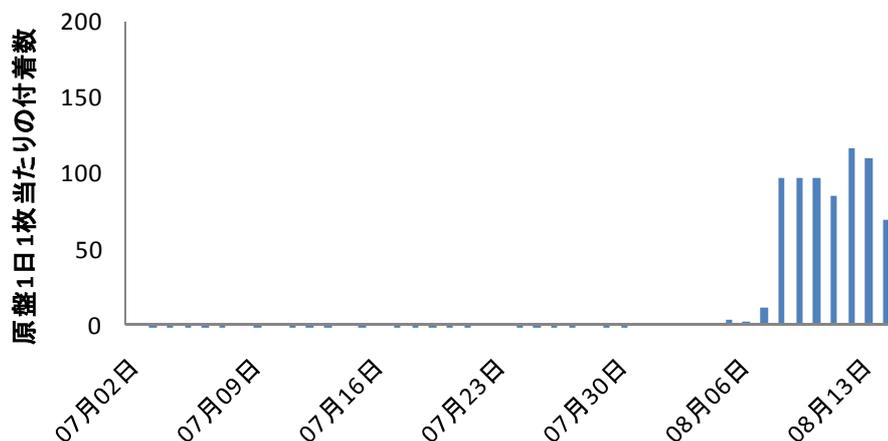
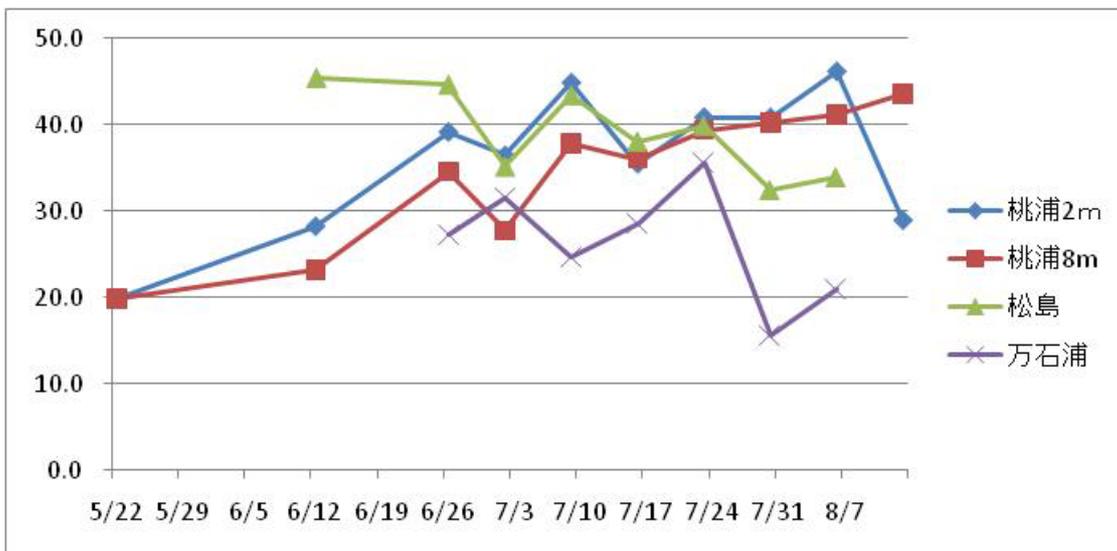


図 種ガキ試験連付着状況

▼熟度調査結果



桃浦の上層では熟度指数の低下が見られ、産卵が確認された。8m層ではまだ、高い値を示している。

▼東北地方の1ヶ月予報(8/14仙台管区气象台発表)

向こう1か月(8月15日～9月14日):

東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

気圧の谷や寒気、オホーツク海高気圧の影響で、天気のごずつく時期がある見込みです。期間の前半は、東北太平洋側を中心に日照時間が少ない見込みです。農作物の管理等に十分注意してください。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(8月15日～8月21日):

期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、東北太平洋側は湿った東風の影響で曇る日があるでしょう。期間の終わりは気圧の谷の影響で曇りで雨の降るところがある見込みです。

平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

2週目(8月22日～8月28日):

気圧の谷や寒気の影響により、東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は低い確率が50%です。

3～4週目(8月29日～9月11日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

[連絡事項]

1. 各地先での浮遊幼生観測結果、原盤投入状況は随時、水産技術総合センター養殖生産部までFAX(0225-97-3444)で連絡下さい。
2. 原盤の投入に際しては地先の幼生調査を強化し、大型幼生の動向に充分注意をして下さい。
3. 本通報の内容は当センターのホームページ<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>でもご覧になれます。
4. 本通報の内容の一部は携帯ホームページ漁業士情報サイト<http://space.geocities.jp/jkshx806/info/gyogyoushi.html>でもご覧になれます。右に記載しているQRコードをご利用下さい。
5. 次回の通報発行は8月17日(月)の予定です。

